

北海道胆振東部地震緊急フォーラムを開催しました。

日時:平成 30 年 10月 22 日(月) 13:15~16:00

場所:北海道大学学術交流会館講堂

北海道大学突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点, 公共政策大学院では、平成30年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震に対する北海道大学の研究者の最新の調査結果・知見の一般への共有を目的に、北海道胆振東部地震緊急フォーラムを開催しました。

フォーラムでは、地震, 土砂災害, 液状化被害, 建築被害, 経済被害, 防災政策を専門とする6名の研究者からの緊急報告, 大学院生からの災害ボランティア体験・留学生からの被災体験の報告を行うとともに、研究者による地震から得られた教訓・課題等についてのディカッションを行いました。

一般市民, 及び, 大学・研究機関・防災関係行政機関・民間企業等から、約300名の参加者があり、報道機関の関心も高く、新聞7社, テレビ3社の取材がありました。



開会挨拶 名和 豊春 総長



緊急報告 谷岡勇市郎(地震学)(理学研究院 教授)
「北海道胆振東部地震の発生メカニズムと強震動」



小山内信智(砂防学)(農学研究院 特任教授)
「地震による厚真町の斜面崩壊」



渡部要一(地盤工学)(工学研究院 教授)
「地震による液状化被害」



岡田成幸(建築工学)(工学研究院 特任教授)
「地震による建築被害」



石井吉春(経済学)(公共政策学連携研究部 特任教授)
「地震による経済被害等」



高松 泰(防災政策)(公共政策学連携研究部 客員教授)
「被災者支援等について」



ボランティア体験報告
公共政策大学院修士2年 長尾 龍明さん



留学生被災体験
公共政策大学院修士1年 金丹丹さん



ディスカッション
コーディネーター 山崎 幹根 法学研究科教授(行政学)



ディスカッションの様子

(参考)
突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点ホームページ
<http://lab.agr.hokudai.ac.jp/disaster/>
公共政策大学院ホームページ
<https://www.hops.hokudai.ac.jp/>